



Cisco Wide Area Application Engine の概要

この章では、Cisco Wide Area Application Engine (WAE) 7371、7341 および 674 アプライアンスの基本機能の概要と、ハードウェア、主なコンポーネント、前面および背面パネルのインジケータと制御ボタンについて説明します。

WAE-7371、WAE-7341、および WAE-674 アプライアンスはともに同一のプラットフォームを採用していますが、CPU の数、取り付けられているメモリ、ハードディスクの数、および電源装置の数が異なります。

この章の構成は、次のとおりです。

- [サポート対象製品 \(p.1-2\)](#)
- [ハードウェアの機能 \(p.1-2\)](#)



(注)

このマニュアル全体を通して、WAE アプライアンスという用語は、特に明記されている場合を除いて WAE-7371、WAE-7341、および WAE-674 アプライアンスを指します。

サポート対象製品

Wide Area Application Engine (WAE) 7371、7341、および 674 アプライアンスは次の製品およびソフトウェア バージョンをサポートします。

- WAE-7371 アプライアンスは Cisco Wide Area Application Services (WAAS) ソフトウェア バージョン 4.0.13.23 以降をサポートします。
- WAE-7341 アプライアンスは WAAS ソフトウェア バージョン 4.0.13.23 以降、および Cisco Application and Content Networking System (ACNS) ソフトウェア バージョン 5.5.9 をサポートします。
- WAE-674 アプライアンスは WAAS ソフトウェア バージョン 4.0.15.6 以降、および ACNS ソフトウェア バージョン 5.5.9 をサポートします。

ハードウェアの機能

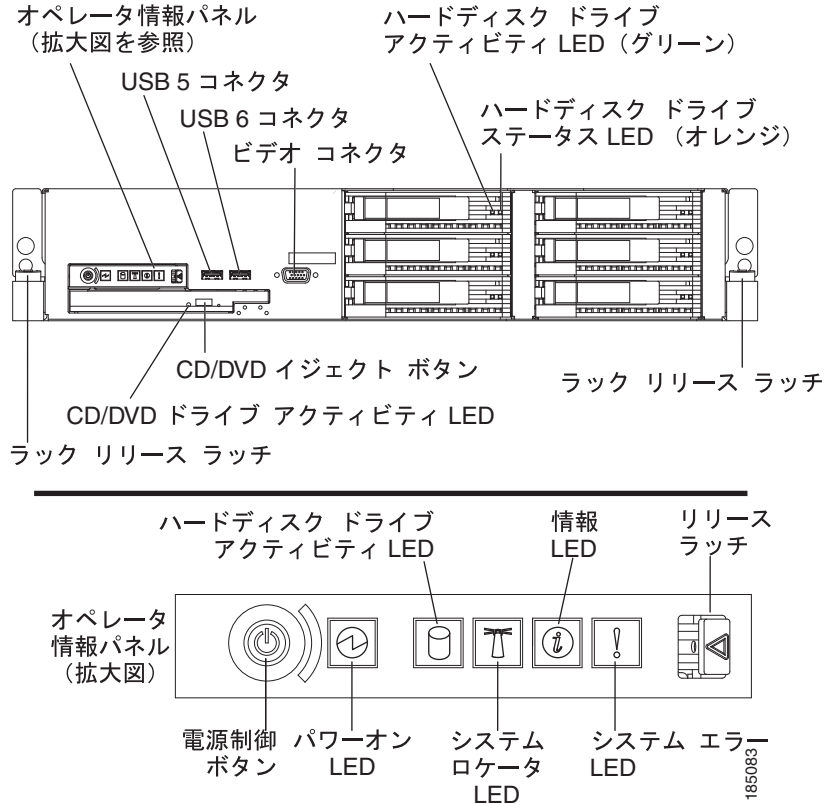
ここでは、WAE-7371、WAE-7341、および WAE-674 の前面パネルおよび背面パネルのコントロール、ポート、および LED インジケータを図示し、それぞれについて説明します。この項の内容は次のとおりです。

- [前面パネルのコントロールと LED \(p.1-3\)](#)
- [ポートとコネクタの位置 \(p.1-7\)](#)

前面パネルのコントロールと LED

図 1-1 に、前面パネルのコントロールと LED を示します。

図 1-1 前面パネル



電源制御ボタンは、システムの電源投入および切断に使用します。電源制御ボタンシールドは、誤ってシステムの電源が切断されるのを防止します。

■ ハードウェアの機能

オペレータ情報パネルでリリース ラッチを左にスライドさせると、オペレータ情報パネルの後ろにある Light Path 診断パネルを操作できます。Light Path 診断パネルの詳細については、「トラブル インジケータおよびステータス LED を使用した問題の特定」(p.6-20) を参照してください。



(注)

コンソールへのキーボードの接続には、任意の USB コネクタを使用できます。モニタを接続するにはビデオ コネクタを使用しますが、トラブルシューティングのための BIOS ブート処理中にしか使用しません。BIOS ブート終了後は、すべての出力がコンソールに送られます。

表 1-1 で、前面パネルの LED とそれぞれの機能について説明します。

表 1-1 前面パネルの LED

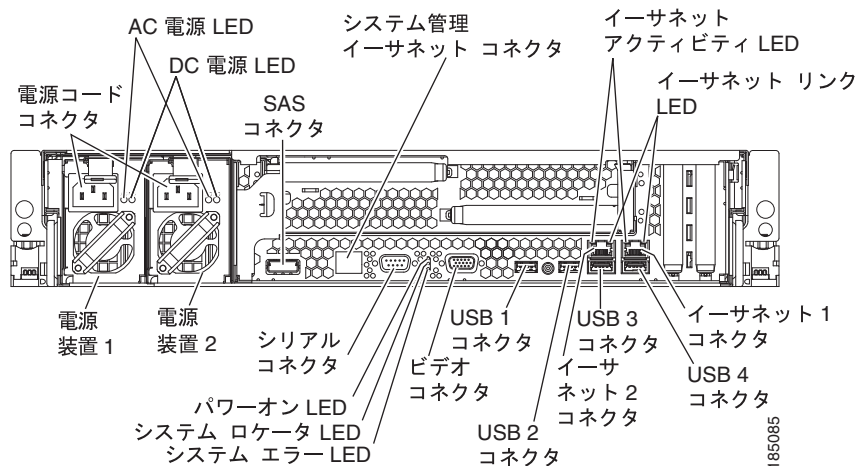
	カラー	ステート	説明
パワーオン (オペレータ情報パネル)	グリーン	点灯 点滅 オフ	アプライアンスに電源が投入されています。電源は切断されましたが、アプライアンスは、まだ AC 電源に接続されています。AC 電源を検出できません。電源または LED に障害が発生しました。
システム ロケータ (オペレータ情報パネル)	ブルー	点灯	その他のアプライアンスの中から該当するアプライアンスを視覚的に特定します。
ハードディスク ドライブ アクティビティ (オペレータ情報パネル)	グリーン	点灯	SAS バス上にアクティビティを検出しました。
情報 (オペレータ情報パネル)	グリーン	点灯	軽度のエラーが発生しました。Light Path 診断パネルの LED も点灯するため、エラーを特定するのに役立ちます。
システム エラー (オペレータ情報パネル)	オレンジ	点灯	システム エラーが発生しました。Light Path 診断パネルの LED も点灯するため、エラーを特定するのに役立ちます。
ハードディスク ドライブ アクティビティ	グリーン	点滅	ハードディスク ドライブが使用されています。

表 1-1 前面パネルの LED (続き)

	カラー	ステート	説明
ハードディスク ドライブ ステータス	オレンジ	点灯	ドライブで障害が発生しました。
		ゆっくり点滅 (1 秒間に 1 回点滅)	このドライブを含む RAID 構成の再構築が行われています。
		早い点滅 (1 秒間に 3 回点滅)	コントローラがドライブの特定を実行しています。
CD/DVD ドライブ アクティビティ	グリーン	点灯	CD/DVD ドライブが使用されています。

図 1-2 に、背面パネルの LED とコネクタの位置を示します。表 1-2 で、それぞれの LED の機能について説明します。

図 1-2 背面パネルの LED とコネクタ





(注)

コンソールへのキーボードの接続には、任意の USB コネクタを使用します。モニタを接続するにはビデオ コネクタを使用しますが、トラブルシューティングのための BIOS ブート処理中にしか使用しません。BIOS ブート終了後は、すべての出力がコンソールに送られます。Serial Attached SCSI (SAS) コネクタはサポートされていません。システム管理イーサネット コネクタはサポートされていません。

表 1-2 背面パネルの LED

	カラー	ステート	説明
イーサネット リンク	グリーン	点灯	イーサネット ポートに対応する 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェイス上のアクティブ リンク接続。
イーサネット アクティビティ	グリーン	点灯	システムが、イーサネット ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号を送信中または受信中です。
パワーオン	グリーン	点灯 点滅 オフ	アプライアンスに電源が投入されています。電源は切断されましたが、アプライアンスは、まだ AC 電源に接続されています。AC 電源を検出できません。電源または LED に障害が発生しました。
システム ロケータ	ブルー	点灯	その他の装置の中から該当する装置を視覚的に特定します。
システム エラー	オレンジ	点灯	システム エラーが発生しました。Light Path 診断パネルの LED も点灯するため、エラーを特定するのに役立ちます。
AC 電源	グリーン	点灯	電源コードから十分な AC 電源が電源モジュールに供給されています。通常の動作時には、AC 電源 LED と DC 電源 LED の両方が点灯します。
DC 電源	グリーン	点灯	電源モジュールが適切な DC 電源をシステムに供給しています。通常の動作時には、AC 電源 LED と DC 電源 LED の両方が点灯します。

ポートとコネクタの位置

WAE アプライアンスは、装置の前面と背面で、2 個のイーサネット コネクタと 1 個のシリアル I/O コネクタをサポートしています。

- イーサネット ポート コネクタ
- シリアル ポート コネクタ

図 1-2 に、背面パネルのポートとコネクタを示します。



警告

感電を避けるため、**Safety Extra-Low Voltage (SELV; 安全超低電圧)** 回路を **Telephone-Network Voltage (TNV; 電話網電圧)** 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が含まれ、WAN ポートには TNV 回路が含まれています。一部の LAN ポートと WAN ポートはどちらも RJ-45 コネクタを使用します。ケーブルを接続するときには十分に注意してください。ステートメント 1021

イーサネット ポート コネクタ

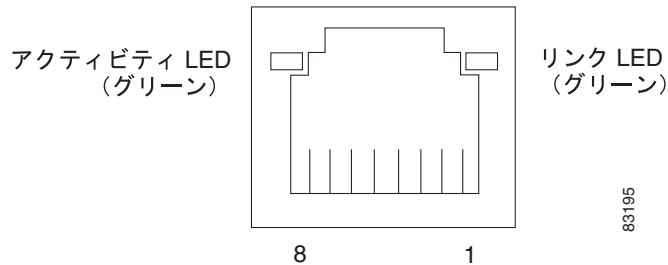
カテゴリ 3、4、または 5 シールドなしツイストペア ケーブルをイーサネット コネクタに接続します。100BASE-TX および 1000BASE-T ファスト イーサネット 規格では、カテゴリ 5 以上のケーブルが必要です。

WAE には 3 個のイーサネット コネクタがあります。イーサネット コネクタのうち、2 個はイーサネット コントローラに接続されています。もう 1 個のコネクタはシステム管理イーサネット コネクタで、WAAS ソフトウェアではサポートされません。

イーサネット コントローラは、システム ボードに組み込まれています。このコントローラは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークに接続するためのインターフェイスを備えており、ネットワーク上でのデータの送受信を同時に実行できる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバのイーサネット ポートが自動ネゴシエーションをサポートしている場合、コントローラはネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで動作します。ジャンパをセットしたり、コントローラを設定したりする必要はありません。

プライマリ イーサネット接続に問題が発生すると、このプライマリ接続に関連付けられたすべてのイーサネットトラフィックは、自動的に冗長イーサネット接続へスイッチングされます。適切なデバイスドライバがインストールされていれば、データの消失や、ユーザの介在なしにスイッチングが実行されます。

図 1-3 イーサネットポートコネクタ



シリアルポートコネクタ

WAE には、1 個のシリアルポートコネクタがあります。シリアルポートコネクタを使用して、シリアル装置を接続できます。

図 1-4 シリアルポートコネクタ

